



小牧幼稚園 園だより 第345号 2019年3月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～」
年聖句「愛する者たち、

神がこのようにわたしたちを愛されたのですから
わたしたちもお互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節

この園だよりが最後となるみどり組のお母さん・お父さん、今までお付き合いいただきありがとうございました。色々な言い回しで、小牧幼稚園の考え方をお伝えしてきましたが、十分にご理解いただけるような文面であったか不安もありますが、ここまでお読みいただけたこと感謝しております。

各クラスで造形まつりの準備が進む中、あお組（年中組のこと）の男の子が、テラスから、砂場へ向け、製作で使っている牛乳パックを何回も何回も投げて遊んでいました。そこへ、それを見つけた女の子二人、あお組後半になり段々ませた、お姉さんらしくなりつつあるふたりが、通りがかりに見つけ、男の子にダメダメと何回も注意をするのですが、男の子は知らん顔でやめません、とお姉さんの一人が「まあ いいか」と言って突然振り向き部屋に入っていました。もう一人は「えー」という感じで、ついていきました。この子いつの間に「まあ いいか」と思えるようになったのかと、びっくりしました、というか、この子の成長に気が付きました。以前なら、ダメなことはダメと先生にご注進するタイプでした。自分の思いが絶対正しいと信じる年齢から、相手を見ることのできる子、相手を許すことのできる「余裕」ができたことが嬉しくなりました。この1年でそれぞれ子どもの色々な育ちを見て嬉しくなりました。そんな姿をお母さんの目で見るとお話が先日出された「つくし文集」に「集団の中の個性」と題して載せられましたので、お母さんの許しを得て、匿名で紹介させていただきます。

『「大きい園だと長男くんは苦しい思いをするかもしれません。」』

療育の先生に言われた私は戸惑いました。自閉スペクトラム持ちの長男の幼稚園選びの時です。地元でない、ママ友もない、何の情報もありません。とにかくネットで調べて小牧幼稚園に見学に行きました。長男の発達不安を相談すると、案内役の園長先生はおっしゃいました。「どんな子でも受け入れます。お部屋を飛び出していく子は今までもたくさんいました。お庭までいく子、廊下までの子、その子に合わせて教員が見守ります。」私は安心しました。集団生活であるけど、個を大切に考えているのが感じられたからです。

入園後の長男はめちゃくちゃでした。思い通りにならないとなぜか服を脱ぎだして泣きわめく。運動会では応援せずに砂遊び。クリスマス会では途中で泣き出す。勿論脱走は当たり前で職員室で良く絵本を読んでいたそうです。そんな長男を先生方は温かく見守ってくれました。長男のいつ爆発するかわからない性格を苦手に思う友達や不安を感じる保護者の方もいたはずですが。でも誕生日会にお邪魔すると、長男君はいろいろなことを知っていてすごいねーとお友達が長男の良いところをほめてくれました。普段の生活の中で先生が子供達の個性を認める指導をしてくれているのだらうと感じました。

長男が年長になると次男が入園してきました。最初は何も不安が無かった次男でしたが、彼もまただんだん自閉傾向が目立ってきました。落ち着きがなく、た

くさんのお友達の中に混ざるのが苦手なようでした。次男が集団の中でどう関わりあって成長していけるか先生たちは丁寧に考えて、懇談の機会を増やして園生活の対応を説明してくれました。みどりくみでの屏風絵作成の時です。班の意見が中々まとまらなかった時に次男が一人ずつ意見を聞いてまとめようとしたそうです。その様子を先生がとても喜んで私に教えてくれました。友達との関係作りが苦手な次男が頑張れたことはもちろん嬉しかったです、それ以上に先生が喜んでくれたことが嬉しく、次男の成長を感じることができました。

次男が年長（組）になると三男が入園しました。三男は集団に馴染めなかった兄たちと違って、園生活を覗けばお友達と遊び、帰ってくればお友達の名前が出ます。他の保護者には当たり前であろうその光景が私には新鮮でとても嬉しい事でした。口は悪いけど愛嬌たっぷり、すぐふざけるけどリレーの練習は一生懸命。園生活の中で彼もまた個性を伸ばして成長してきました。

卒園した兄二人は小学校になった今でも団体行動や友達付き合いが苦手です。でも二人とも幼稚園より大きな小学校という集団の中に嫌がることなく当たり前のように通っています。きっと小牧幼稚園という集団の中で個性を認めてもらえたからでないでしょうか。マイナスに捉えられがちな自分の個性を先生にもお友達にも認めてもらえたことが苦手な集団生活の中で過ごせる自信に繋がっているのだと思います。春には三男も卒園です。進学しても兄たちのように小牧幼稚園で過ごした日々が彼を支えてくれると信じています。

長男・次男・三男と途切れることなく続いた小牧幼稚園とももうすぐお別れです。私もたくさん成長させて頂きました。諸先生方には感謝の気持ちがいっぱいです。七年間本当にありがとうございました。』（編集の都合上段落等変更されていますが、文面は変更ありません）

*愛知県経常補助金のお知らせ

愛知県は極めて厳しい財政状況の中で、県下の私立幼稚園に対して多額の補助金が交付され私学助成の充実に力を注いでおります。この補助金は幼稚園の人件費・消耗品・教育に必要な経常費的経費に対して補助されるもので、次の3点が目的になります。①教育条件の維持向上、②父母負担の軽減、③経営の安定化です。小牧幼稚園は平成30年度は37,881,000円（園児一人当たり235,285円）の補助を受け、前記3項目に対して効果が見られ来年度も授業料等の増額を考えておりません。

*工事についてのお知らせ

卒園式が終わりました、16日より年少組保育室等のリフォーム工事を行います。同時に各保育室に空調設備を設置します。まだ、保育中になりますが安全に十分に配慮し行いますので、ご理解をお願いします。

*毎年、みどり組が参加する、春の交通安全教室は、4月に行われる選挙の関係で、5月に行われそうです。日程が決まり次第お知らせします。

*2018年度の父母の会会計報告は、4月号で報告いたします。みどり組のご家庭は、ホームページの園だより4月号でご覧ください。